

横浜市立上瀬谷小学校

令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質能力
豊かな感性を養い共に生きる子	<自分自身を高めていく力>

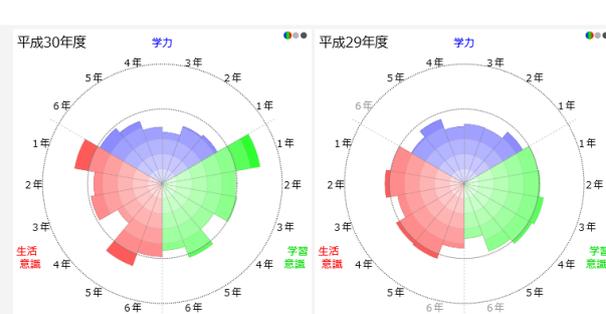
(2) 中期取組目標

中期取組目標
○子ども一人ひとりを大切にし、活力と笑顔あふれる学校にします。 ・個の学習状況を把握し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ・問題解決的学習を意識して、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが互いのよさを認め合い、自己有用感のある楽しい学校生活を過ごせるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・まちの「人」とのつながりや中学校との連携を意識し、豊かな体験を通して、地域全体で、まちを愛し生きる力のあふれる子どもを育てます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
主体的な学び	①児童の実態を把握したうえで各学年の重点課題を決め、各教科、基礎基本の定着を図る。 ②主体的に学習に取り組むとともに、話し合い活動を通して、自分の思いを伝えあうことができる子の育成を目指す。
担当	評価委員会

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



平成30年度横浜市学力・学習状況調査における学習意識の調査結果からは、「勉強は大切であり、社会に出て役に立つ」と考えている児童が多いことが分かった。学習意識については市の平均より上回っている教科も見られる。しかし、考えたことを進んで表現したり、疑問に思ったことを進んで調べたりといった、主体的に学ぶ態度には課題も見られた。

一方で、各教科の調査では、全体的に正答率が市の平均を下回る教科が多く、課題も見られた。国語科においては、配当漢字を正しく書くことができている児童は多かったが、目的に応じて文章を書くことに課題が見られた。伝えたいことを明確にしたり、自分の経験と結び付けたりしながら書くことを意識して指導していきたい。算数科においては、基礎・基本の定着を図り、問題文の意図をつかむことができるよう、丁寧に読む習慣が身に付くよう指導していきたい。

今後は、主体的に学ぶ態度を養うために、自分の言葉で考えを表現したり、友達と学んでよりよい考えに高めていったりするよさに気付く授業づくりが全学年を通して求められていると考えられる。また、問題場面を生活に結び付けて考えたり、学習したことを生活の中で生かしたりするなど、身に付けた力を活用できるよう児童に働きかけていく必要がある。

生活意識調査では、読書習慣のある児童が市平均よりも少ない結果となった。携帯電話やスマートフォンを操作している時間が比較的長いことや睡眠時間が十分でないことが課題となっている。家庭と協力しながら指導していきたい。



3 令和元年度 各教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具現化した資質能力	具体的取組
1年	◆ 基本的な生活習慣の形成 ◆ 人とのかかわり ◆ 発信する力	○ 基礎基本の定着のために、継続的に言葉や計算などの学習を繰り返し行い、家庭との連携をとって学習の仕方や学習内容が身に付くようにする。 ○ 自分の考えや思いを話したり書いたりする表現活動を大切にするとともに、相手をよく見て話を聞くように、交流する場を多くする。
2年		○ 基礎基本の定着のために、継続的に言葉や計算などの学習を繰り返し行い、家庭との連携をとって学習内容が身に付くようにする。 ○ 自分の考えや思いを、順序だてて分かりやすく伝えたり、相手の話の大切なところを聞いたりできるよう、表現活動や交流する場を多くする。
3年	◆ 課題を発信する力 ◆ 受け止める力 ◆ 折り合う力	○ 基礎基本の定着のための学習を継続的に行い、生活経験や既習事項を生かして学習問題を捉え、考えを進めていく学習を展開する。 ○ 目的に応じて、自分の考えを明確にして表現したり、相手の考えを受け取ったりすることができるように場面を位置付ける。
4年		○ 基礎基本の定着のための学習を継続的に行い、生活経験や既習事項を学習問題や課題と関連付け、根拠を明らかにして考えを進めていく学習を展開する。 ○ 目的に応じて、自分の考えを明確にして表現したり、相手の考えを受け取ったりすることができるようにする。また、互いの意見の相違点に気付いていけるように場面を位置付ける。
5年	◆ 協働しようとする態度 ◆ 主体的な学び ◆ 多様性を尊重しようとする態度	○ 基礎基本の定着のための学習を継続的に行い、課題を自分事としてとらえ、解決しようとする意欲を高めるよう学習展開を工夫する。 ○ 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるよう表現を工夫できるようにする。また、考えを共有することで、互いの考えを比較し、自分の考えをまとめていけるように、話し合いの場を意図的に設定する。
6年		○ 基礎基本の定着のための学習を継続的に行い、自ら課題を見出し、主体的にとらえ、解決しようとする意欲を高めるよう学習展開を工夫する。 ○ 目的や意図に応じて、自分の考えが分かりやすく伝わるよう表現を工夫できるようにする。また、考えを共有することで、互いの考えを比較し、考えを広げていけるように、話し合いの場を意図的に設定する。
個別支援学級	◆ 基本的な生活習慣の形成 ◆ 人とのかかわり ◆ 発信する力	○ 日常生活の場面で人や物の名前、動きや状態、感情の表し方を身に付けられるように指導する。 ○ 適切な教材や指導場面を工夫し、必要感を感じさせ、思いを伝える意欲を高める。